

ひびき

教育目標「なかよく かしく たくましく」
 一人一人を大切にする「風通し」のよい学校—
 多治見市立共栄小学校 後期保護者アンケート号

後期の保護者アンケートの結果報告

—お一人お一人の貴重なご意見を真摯にとらえていきます—

共栄小校長 加藤 隆史

昨年12月に2回目の保護者アンケートを実施しました。ご回答ありがとうございました。

全体の回答率は66.2%（前期から+2.3%）でした。今回はロイロノートからの回答だけでなく、アンケート用紙からも回答していただける方が増えました。今後も、回答しやすい方法で構いませんので、「風通し」のよい学校にしていきたい、さらに多くの保護者様からのご回答、そして忌憚のないご意見をお待ちしております。

今回の集計結果やご意見、ご要望についても、すべてに目を通させていただきました。これらを真摯に受け止め、改善できる点につきましては、早速、策を講じていきます。また、職員でも結果を共有し、それを踏まえて来年度の方を現在検討しているところです。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

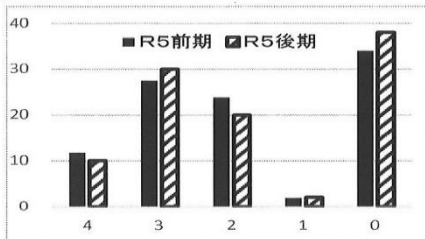
令和5年度後期 共栄小学校 保護者アンケート結果 提出率 176人(266人中) 66.2% (前期比+2.3)

4:よくあてはまる 3:だいたいあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:あてはまらない 0:分からない・未提出 《数字は%》

1 お子さんは失敗を恐れずにいろんなことに挑戦している。

肯定的回答 66.3 %
 前期比 -3.4

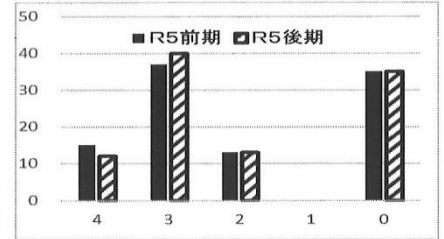
R5前期	R5後期
4	12
3	28
2	24
1	2
0	34



2 お子さんは違う立場も理解し、他者の意見に耳を傾け、折り合って生活している。

肯定的回答 79.3 %
 前期比 -0.5

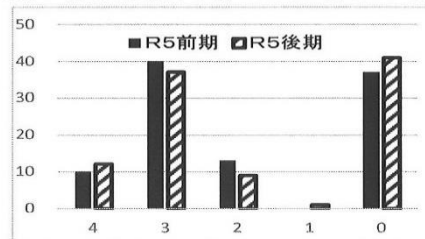
R5前期	R5後期
4	15
3	37
2	13
1	0
0	35



3 お子さんは周囲が自分の良さを理解してくれていると感じている。

肯定的回答 83.3 %
 前期比 +5.3

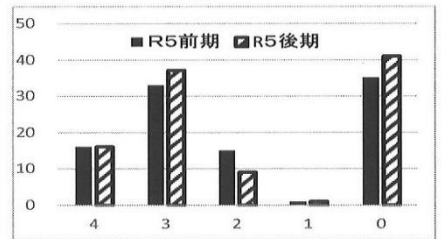
R5前期	R5後期
4	10
3	40
2	13
1	0
0	37



4 お子さんは小さくても確かな自信をもっている。

肯定的回答 77.0 %
 前期比 +4.1

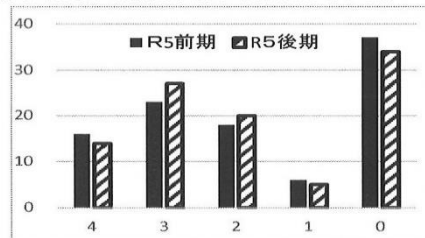
R5前期	R5後期
4	16
3	33
2	15
1	1
0	35



5 お子さんは自分から進んで家庭学習に取り組んでいる。

肯定的回答 61.6 %
 前期比 -0.3

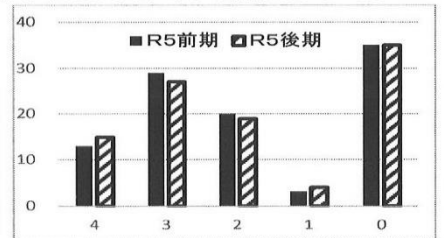
R5前期	R5後期
4	16
3	23
2	18
1	6
0	37



6 お子さんは自分から進んでさわやかな挨拶をしている。

肯定的回答 64.9 %
 前期比 +0.3

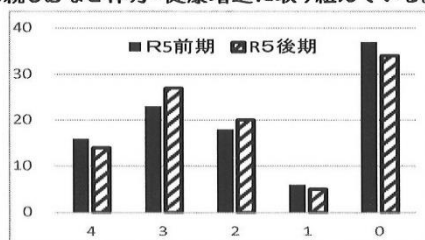
R5前期	R5後期
4	13
3	29
2	20
1	3
0	35



7 お子さんは運動に親しむなど体力・健康増進に取り組んでいる。

肯定的回答 64.6 %
 前期比 -4.4

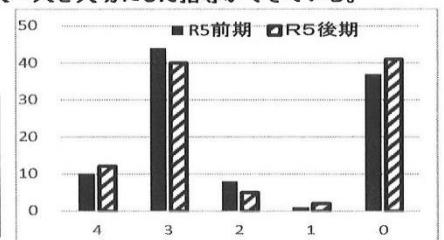
R5前期	R5後期
4	23
3	22
2	16
1	4
0	35



8 学校は一人一人を大切にしたい指導ができている。

肯定的回答 88.0 %
 前期比 +2.3

R5前期	R5後期
4	10
3	44
2	8
1	1
0	37

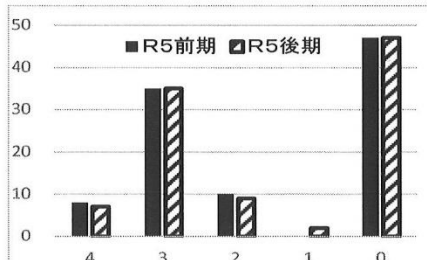


9 学校はいじめを許さない指導ができている。

肯定的回答79.1%

前期比-2.7

R5前期	R5後期
4	8
3	35
2	10
1	0
0	47

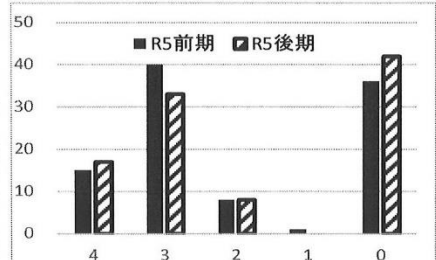


10 学校はタブレットなどのICTの指導ができている。

肯定的回答86.5%

前期比+0.6

R5前期	R5後期
4	15
3	40
2	8
1	1
0	36

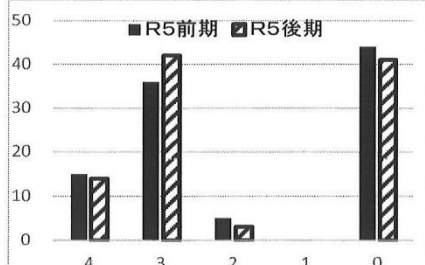


11 学校は防災や命を守る指導ができている。

肯定的回答95.5%

前期比3.7

R5前期	R5後期
4	15
3	36
2	5
1	0
0	44

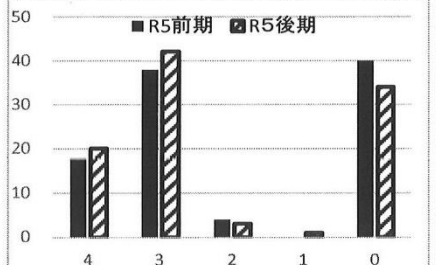


12 学校は学校行事や体験活動、学校公開の充実を図っている。

肯定的回答94%

前期比0.6

R5前期	R5後期
4	18
3	38
2	4
1	0
0	40

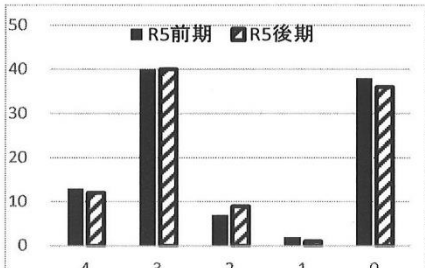


13 学校は家庭との連携を図っている。

肯定的回答84.8%

前期比-2.6

R5前期	R5後期
4	13
3	40
2	7
1	2
0	38

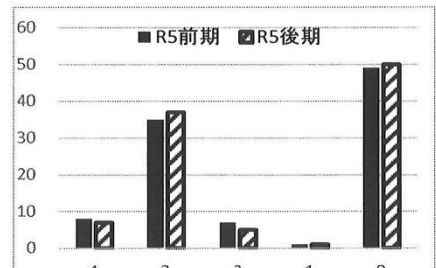


14 学校は地域との連携を図っている。

肯定的回答89.3%

前期比+4.5

R5前期	R5後期
4	8
3	35
2	7
1	1
0	49

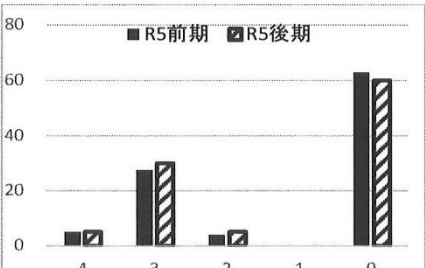


15 学校は働き方改革を適切に進めている。

肯定的回答87.6%

前期比-1.6

R5前期	R5後期
4	5
3	28
2	4
1	0
0	63

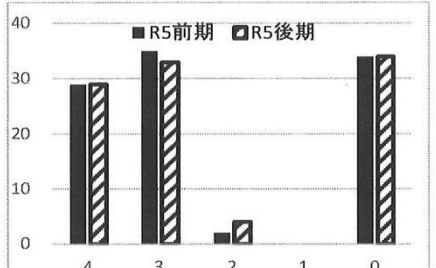


16 ご家庭ではお子さんとのふれあいを大切にしている。

肯定的回答93.8%

前期比-3.3

R5前期	R5後期
4	29
3	35
2	2
1	0
0	34

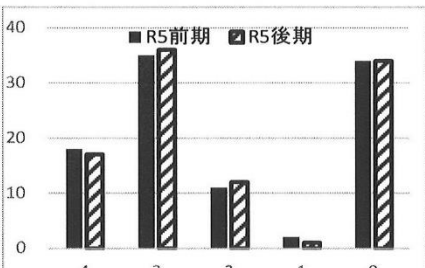


17 ご家庭ではお子さんとのテレビやゲーム、スマホについて話し合いルールを作っている。

肯定的回答80.6%

前期比+0.6

R5前期	R5後期
4	18
3	35
2	11
1	2
0	34

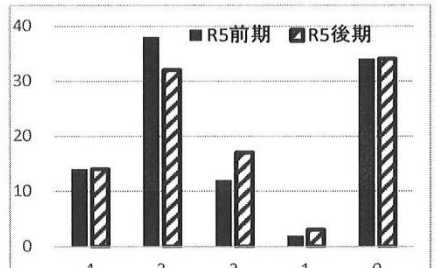


18 ご家庭手はお子さんの家庭学習や学用品の準備等で見届けや確認をしている。

肯定的回答70.1%

前期比-12.9

R5前期	R5後期
4	14
3	38
2	12
1	2
0	34

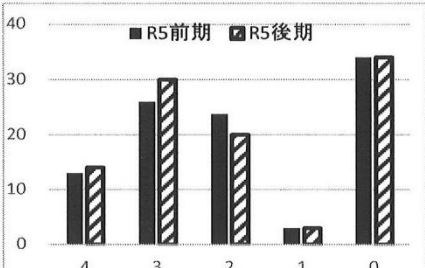


19 ご家庭ではお子さんのお手伝いを決めて、お子さんはお手伝いを行っている。

肯定的回答65.6%

前期比+7.7

R5前期	R5後期
4	13
3	26
2	24
1	3
0	34

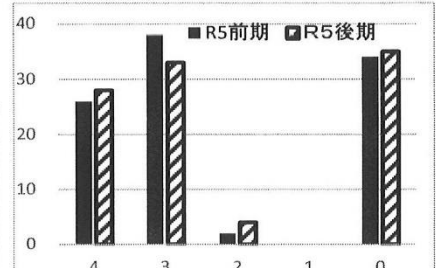


20 ご家庭ではお子さんのよさや頑張りを褒めたり、認めたりしている。

肯定的回答93.7%

前期比-2.3

R5前期	R5後期
4	26
3	38
2	2
1	0
0	34



【保護者アンケートの結果から】

<お子さんに関すること>

- 多治見市が目指す「共生力(質問2)」「自己有用感(質問3)」「挑戦(質問4)」についての項目は、肯定的な回答が80%程度で、比較的、育ってきていると感じている保護者様が多くみえます。これを本校のよさとしてとらえ、さらにこうした力を高めていきたいです。
- 前期と同様に「自ら家庭学習に取り組む」「進んで挨拶する」「進んで運動に親しむ」といった項目は、肯定的な回答が60%前半と同様に低かったです。この点については、学校としても同様に考えています。主体的に考え、行動する力(自立力)をつけていくとともに「基礎学力」「体力」「爽やかなあいさつ」の向上を今後の学校課題として取り組んでいきたいです。

<学校に関すること>

- 回答をしていただいた保護者様からは、ほとんどの項目で肯定的な回答が80%を越えていました。こうした評価は、日々、子どもたちと向き合っている職員にとっても支えとなります。中でも「防災や命を守る指導」「行事や体験活動、学校公開」については95%近くの保護者様が肯定的にとらえていただいています。さらに否定的な回答があることを真摯に受け止め、その要因をさぐり、改善を目指していきます。
- 「いじめを許さない指導」について肯定的な回答が79.1%と項目の中で一番低かったです。子どもたちにとって安心・安全な学校にするためには「いじめ」について指導の在り方を再度、見直し改善していきます。また本校の「いじめ防止基本方針」について見直し、保護者の皆様や地域、そして子どもたちと共有できるものにしていくことが必要だと考えています。
- 「地域との連携」や「学校の働き方改革」についての項目は、「分からない」という回答が1回目同様に多かったです。来年度は学校運営協議会が設置されるコミュニティ・スクールとなります。学校報やホームページなどで、地域とともに子どもたちを成長させていく様子を知らせしていきます。

<家庭に関すること>

- 1回目と同様に、ご家庭で「お子様とのふれあいをもっている」や「お子さまのよさを認めほめる」について肯定的な回答の割合が極めて高いです。引き続き、望ましい親子の関わりがなされていることがよく分かりました。こうした家庭での基盤が子どもたちにとってのエネルギーとなっていきます。
- お手伝いについては、第1回目のアンケートより肯定的な回答が7.7%向上しました。ご家庭で子どもたちが家族の一員として頑張っている姿を学校でも話題にして、広げていきたいです。

【保護者からのご意見ご要望に対する回答】 ※文を省略してある場合があります。ご了承ください。

<学校生活全般に関わること>

昨年は不登校の時期もあった子ですが、今年は楽しく通えるようになりました。一人一人を大切にしながらクラス全体をまとめて下さる先生の指導力に感謝感謝の毎日です。「お楽しみ会」など子供達が意欲的に取り組める活動を考えて下さり、我が子だけでなく学級全体が生き生きとしている感じが伝わりとても嬉しいです。また、授業によっては学年全体で行ったり、お互いの担任の先生に教わったり二人の先生に学年全体をみていただいている感じが安心します。ありがとうございます。

⇒本校の大切にしている「一人一人を大切にする」という点を認めてくださっていることが有難いです。今後も、こうしたご意見が多く聞かれるような各学年の活動や学校全体の運営をめざしていきます。

長いようなあっという間だったような6年間が終わろうとしています。先生方には本当にいつも感謝の気持ちでいっぱいです。顔を見てお話しすることがほとんどないままなのは何とも寂しい感じです。今もしばしば思い出される、いえずっと心に引っかかっている娘の言葉があります。1年生の夏休み前に、「学校って思っていたところと違う!」と困ったような怒ったような表情で言ったのです。「そうなの…」とだけ返事をした覚えがあります。集団生活こそその決まり事、細かい規則、ホントに必要な?のルール、なんでみんなと同じにしなきゃいけないの?何で子供の意見を聞いてから決めないの?あれやこれやと彼女の疑問はだんだん不満になり息苦しくなりそして2年生の秋についに「行きたくない」となりました。当初は私も戸惑いましたが当時の校長先生の支えもあり、上等じゃないの不登校!ぐらいに思えると楽になったものです。その後も同調圧力に悩んだり、クラスメイトとのトラブルな

ったりとしんどい時間もありましたが、今では「学校に皆んなで泊まりたい」と言う事もある程です。あの時の言葉はそのまま彼女の学校生活だったと6年たった今わかりました。心と体と頭の成長と共に学校って一体何？友達って？先生って？勉強って？と色々感じて考えて過ごした時間そのものです。悩みも苦しみも寄り道も全部本人にとっては必要な時間だったのです。親はこれからも「待つ」しかありませんね。

⇒6年生も学校へ登校する日は40日程度になってきました。それぞれのお子さんが、6年間の
中で、さまざまなきごとがあり、思い悩んだり喜んだりしてきたことと思います。3月25日
の卒業式では、そんな6年間の思いや中学校への希望を姿で示すことができるよう指導をしてい
きます。

<子どもへの指導に関わること>

全ての子供が等しく同じ基準で評価される、もしくは同じことができていないとできない子と思われる必要は無いと思います。

⇒学校という集団での生活の中では、日課や生活の約束、各学年で学ぶべき学習内容など「みんな
同じ」でなくてはならないことはあります。しかし、一人一人の特性、想いや考え方、困り感
はそれぞれちがいます。まずは教師が一人一人のちがいに寄り添っていくこと、そして子ども
たちも、そんな一人一人のちがいを受け入れていけるよう指導していくことを大切にしてい
きます。そのためには保護者様との対話が必要であると考えています。お気づきの点、相談等
ありましたらお気軽にご連絡ください。

いつもありがとうございます。コロナ禍を経て他人との距離ができやすくなっていると思うので、挨拶運動などを
学校生活で取り入れるといいと思います。

⇒学校の活動も以前と同様なことできるようになりました。来年度は児童同士が関わる活動（全
校で集まったり、異学年で集まったり）や地域の方がとかかわる活動を多く取り入れていき
ます。また、さわやかな挨拶は本校の課題でもあります。来年度は力を入れていきたいです。

毎日持っていく荷物の多さはなんとかならないか。ランドセルが重たそうでふびんで仕方がない

⇒教科書はすべて持ち帰らず置いていくようにしています。タブレットを毎日、持ち帰らせている
ため、その分が重くなりご心配をおかけしています。お茶や給食セットなどの荷物もあります。
子どもたちの発達段階に合わせて見直せるところは早急に見直します。

<学習に関わること>

宿題が多すぎる。やりきれない。そこまで宿題が多い必要があるのか。ただでさえ家庭での時間が少ないのに。

⇒家庭学習については、家庭での学習習慣を身に付けること、基礎学力の定着をねらいとし、学年
の発達段階に合わせて無理のない分量を考えて出しています。一律には出していますが、事情が
ある場合は、その限りではありません。担任と家庭とが連携して、無理なくやり切れる方向を共
に考えていきたいと思います。お気軽にご相談ください。

<生活に関わること>

外での遊び方がすごくあぶないと思う。

⇒地域の方から下校後の自転車の乗り方（ヘルメットの非着用など）や公園や児童館での遊び方で
気になることを電話等でご連絡いただいております。その都度、生徒指導主事からも全校に向け
て指導をしています。

<学校の行事に関わること>

年4回の授業参観は多いと感じる。プラス運動会もあるので。

⇒今年度、夏休み前については確かに毎月のように学校に足を運んでいただく機会がありました。
学校と保護者との連携を密にしていこう、また、学校の様子やそれぞれのお子さんの知っていただく
というねらいで行ってきました。そこと保護者様のご負担の兼ね合いを考えて来年度の計画を考
えていきます。